



認定 NPO 法人スペースふう

循環型社会を目指して!

活動報告書 2021





新しい事業がスタートしました！

リユースお弁当箱がつなぐ 地域デザイン事業「ホットス」

産後のおかあさん等に、ちょっとでもほっとするひとときを感じてほしい。

そんなささやかな想いを込めて、お弁当をお届けしています。

リユースお弁当箱が地域のつながりを育む重要な役割を担いながら、コミュニティ
オーガナイズを活用し、安心して子育てができる地域を目指します。



作る Public House モモ

産後のお母さん等がほっとしたり、わあっ
て楽しく感じてもらえるよう、パブリック
ハウスモモの仲間たちはいねいにお弁当
を手作りしています。



届ける 回収 洗う スペースふう

スペースふうを拠点に『地域のできる
こと』を集めながら、本事業に挑戦！
関わる皆さんも、お届けするお母さん
等も、そして応援して下さる皆さん
もこの取り組みの一員！（長池）



拠点！



産後のお母さん等に安心
して使っていただけるよ
う、リユースお弁当箱の
洗浄・検品作業をしま
り行っています。（内藤）

まとめる

サポート

POKUPOKU

お弁当を受け取った時に
ほっこりしてもらえる
よう、楽しい柄のあず
ま袋が満載♪



パソコン作業で
サポート^^
インスタ更新中！



<https://www.instagram.com/hottos2525/>



行政 富士川町子育て支援課

「何種類ものおかずが入っていて、体も心も元気になれた！」
「子育てに共感してくれるスタッフと、話しもできて嬉しかった。」
こんな声が、hottos を利用したお母さん方から聞かれています。
産後で赤ちゃんのお世話に追われ、自分のことは後回しになっているお母さんの「ホット」するひとときになっています。（横内さん）

すこやか教室や産前
産後訪問等を通して、
この取り組みをご案
内中です♪

マスコットキャラクター
ゆずにゃん



利用しました！



さん

長池さんの人柄と hottos のサービ
ス内容に惹かれ、即効お願いま
した。お弁当なので抱っこしてでも食
べられるし、ヘルシーな野菜がたく
さん詰まっています女性には本当にあ
りがたいメニューばかりでした。
上の子のお弁当まで用意してくれて
好き嫌いが多いので、対策まで考え
てくれて、作っていただきました。
配達時も優しい言葉かけとわたしの
話を聞いてくれたりもしてホットす
るような一時をくれました。ありが
うございました♪

どんな事業？

hottos (ホットス)

富士川町にお住まいの産後 0~4 ヶ月ほどの産後のお
母さん等を対象に、お弁当をお届けします(最大10回、
自己負担 100 円)。お母さんと一緒に食事する上
のお子さん(未就学児)の分も利用可。

Sottoh (ソットー)

個別対応が必要な子育て家庭にも、それぞれの事情に
応じてお届けしています。

ホットスフォーラム 第1回 オンラインZOOM



株式会社エンパブリック代表
広石拓司氏



認定NPO法人スベ
ースふう事務局長、
長池伸子

リユース×お弁当配達
だからこそできる
ソーシャルキャピタル

第1回ホットスフォーラムを
2月21日にオンライン開催しました
Youtube にて公開中♪

<https://youtu.be/9Jf9zo6fB2w>



本事業の強力な
伴走支援者！

甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム 資金分配団体
認定 NPO 法人富士山クラブ 青木直子さん

休眠預金助成金を活用し、お子さんのいる家庭が、安心して暮らせる地域をつくるこの
活動は、環境 NPO としてリユース食器普及の実績を持ち、地域の仲間、富士川町、地元
企業との協働の関係があったからこそ。伴走支援で活動の様子を聞くたびに、この活動
が人を巻き込み、つながる風を起こしているのを実感しています。



舞い上げられ
社会を変える
みんなの力
休眠預金を活用した事業です

~これから~

3年間の助成期間のうち、1年目が終了し、社会課題のリーサーや事業を行う中で、現状の深刻さと予想以上の反響に、
この事業の重要性を痛感しております。お弁当宅配が孤立しやすい産後のお母さん等の課題解決の切り口となり
うか検証しながら、段階的に事業を拡大していきます。休眠預金助成期間終了後も持続可能な支援事業にしてい
くために、行政、企業、地域団体、個人等と連携していきます。皆様、ご協力・ご支援のほど、お願いいたします。

詳しくは、お問合せください！

01 リユース食器レンタルの利用普及事業



2020 年度に続き、2021 年度も新型コロナウイルス感染拡大により全国的にイベントが中止・自粛となる中、イベント 24 件、約 17,000 個のリユース食器を貸し出し、使い捨て容器ごみの削減に貢献しました。

2021 年度より、リユースお弁当箱の貸出業務を試験的に導入し、約 3,000 個のリユースお弁当箱が使用されました。現段階では限定的にレンタルしていますが、今後はエリアを拡大しながらレンタルのしつこくを整えていきます。



高圧洗浄機の「しずかちゃん」は、少しずつ稼働しています！

02 ヴァンフォーレ甲府 エコスタジアム プロジェクト



2021 シーズンは、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、リユース食器の利用が段階的に再開し、シーズンを通して約 17,000 個が利用されました。ヴァンフォーレ甲府との連携が進む中、エコステーションの運営体制の見直しを図りました。



様々な交流が生まれています

04 環境啓発推進事業



2021 年度はオンラインも含め山梨県内外で 8 回の講演・講義等を行いました。リユース食器の普及啓発や使い捨てプラスチックごみ問題、そして 2021 年度よりスタートしたホットス事業等について理解していただく機会を得ました。



オンラインで参加しました！

「大阪梅田北エリア（ウメキタ）エリアで働く社会人同士が、ソーシャルな課題や話題を広く知り、共有する異業種の交流の場」の忘年会にてスペースふうの活動を紹介＆リユース食器をご利用いただきました ^^

積水ハウスマatchingプログラム事業

「使い捨てをリユースへ」・・・ Bento 容器からつながる SDGs アクション事業



「使い捨てをリユースへ」スローガンに、様々な場面で、リユースお弁当箱の提供及び配達業務を引き受け、普及に努めました。地域の複数の場面で使い捨てごみ削減のしつこくを展開できたことで、関わった人たちのリユースに対する意識づけやひいてはまちづくりへの波及につながりました。

地域の NPO、企業等と協力して地域づくりをしています

「Bento 容器のシェアリングのしつこく」にチャレンジ！

富士川町社会福祉協議会と連携しながら、高齢者向けに提供している宅配弁当を対象に、使い捨て容器からリユースお弁当箱へシフトすることができました。利用者によるアンケートの結果、リユースお弁当箱に対する評価が非常に高かったことから、助成終了後も関係者間で協議しながら継続実施しています。

また、富士川町議会会期中の議員のお弁当提供時や、企業との協議等により様々な場面でリユースお弁当箱導入に取り組みました。こうした連携の強化により、地域で新たな事業を展開する素地を構築することができました。



富士川町社会福祉協議会 井上さん

おいしく学ぼう、SDGs！

スペースふうの活動への理解と協働の輪を広げるために、公認ファシリテーター田中実氏のもと「2030SDGs カードゲーム」を 4 回実施しました。

対象者は、富士川町職員有志等、それぞれジャンルの異なる方々に学ぶ機会を提供することができました。また、実際にリユースお弁当箱でお弁当を食べてもらい、環境面、社会面（働く機会の創出）等横断的に SDGs を体感していただき好評でした。

リユースお弁当箱で地域をつなぐ



チャリティー T シャツの販売にチャレンジ。皆様、ご協力くださいありがとうございました！

Jammin x スペースふう
Cherish every moment
すべての瞬間を大切に



ツナガル、若いチカラ！

スペースふうの取り組みを研究した大久保結さんは、『第 65 回全国学芸サイエンスコンクール』旺文社赤尾好夫記念賞に入選されました。おめでとうございます！



03 リユース食器事業者をつなぐ 全国ネットワーク ふうネット事業



2006 年、リユース食器レンタル事業の担い手を全国に広めようと、スペースふうが興した「リユース食器ふうネット」は、一定の役割を終え、この度 16 年間の活動に終止符が打たれました。今後はネットワークのルールに縛られることなく、独自の事業展開を行うこととなりますが、リユース食器の普及拡大という大きな目標に向け、共に力を合わせていくことを確認しました。



NPO 法人と企業のパートナーシップ 20 年前、スペースふうの誕生の裏にははくばくがいた

世界全体が SDGs に取り組んでいる今、企業と NPO のパートナーシップも重要な要素となる。はくばくとの関係を軸に、スペースふうの 20 年を振り返った。続きは note にて！
(ライター 島田環)



Youtube チャンネル スタート♪

リユース食器の洗浄の様子や事業所等、少しずつご紹介しています。

<https://www.youtube.com/spacefuu2012>

スペースふうの活動は、
皆さまの**会費・寄付**によって
支えられています

スペースふうは
企業との連携で
SDGs の**達成**を目指します

コロナ禍により、長く使っていなかったリユース食器の再洗浄に時間と労力を費やさねばならない日々が続いています。イベントは戻りつつあるも、当分はコロナの“後遺症”との闘いが続きます。

一方、新しい事業「ホットス」への期待感が高まっています。地域課題の解決へ向けさらに充実させていかねばなりません。私たちはこれからも、環境・福祉の両面から、持続可能な社会づくりに全力で取り組みます。皆さまのご支援が大きな励みとなります。



理事長 永井寛子

リユース食器で「ごみゼロイベント」を全国に広めようと、スペースふうを設立して 20 年。今では認定 NPO として、責任と確かな実績をもって多くの方面から期待される存在となりました。

2022 年 4 月「プラスチック資源循環促進法」が施行され、脱炭素社会に向け、国は大きく動き出しました。リユース食器の普及を通して、CO2 の削減に大きく貢献しているスペースふうの活動も今後企業とのコラボレーションによって、さらに強固なものになると確信しています。

SDGs の目標達成に向けスペースふうと共に、未来への懸け橋を築いていきます。

皆さまとともに想いを事業という形に変え、循環型社会の実現を目指します

皆さまからいただいた会費、ご寄付はリユース食器の普及に伴う事業、社会の課題解決に向けた事業の力とさせていただきます。未来につなげる社会を目指して活動するスペースふうにご支援をお願いします。

スペースふうを支えてくださった皆様



中央公害清掃株式会社
常務取締役 五十嵐広一 様

世界的に課題となっているプラスチックごみについて、環境に携わる企業として何ができるか考えていたところ、スペースふう様に会いました。

ワンウェイ食器をリユース食器に替えることで、CO2 削減や省エネ等に繋がるだけでなく、資源の有意義な活用により、未来の子供たちに緑の地球を届ける素晴らしい活動だと思っております。

社会情勢が刻々と変化する中ではありますが、スペースふう様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

NPO 法人ゼロ・ウェイストアカデミー
元事務局長 藤井園苗 様



日本で初めてゼロ・ウェイスト（ゴミゼロ）宣言を行った徳島県上勝町でも、リユース推進の一つとして 2008 年からリユース食器の貸出を行っています。当時から先進事例としてのスペースふうさんの活躍は眩しく、同じく NPO を運営していた身としては組織運営についても様々な困難に立ち向かい、多くの仲間とともに乗り越えていく皆様には、ただただ敬服するばかりです。これからもその邁進力で日本を牽引して下さい。応援しています。

あいおいニッセイ同和損保株式会社 様

あいおいニッセイ同和損保株式会社様よりペーパーレスにつながる eco 保険証券、web 約款の導入による寄附活動として、スペースふうにご支援いただきました。



中込三彌子 様



循環型社会を目指して地道な活動をされている「スペースふう」です。コロナ禍でリユース食器の需要が減り、事業継続が危ぶまれた時期を乗り越え、知恵を出し合って『行って戻るリユース食器は人と人を繋ぐ接点になる』と、産後ママを応援し、お弁当を届ける活動に広げたその着眼点。まさに地球にやさしく人にやさしい活動ですね。皆さんの活動を力強く思い、これからも応援していきます。

循環型社会を実現するために、皆様のご支援・ご協力をお願いします

会員募集

正会員 〈年会費〉団体・法人 10,000 円 / 1 □
個人 5,000 円 / 1 □
当法人の活動に賛同し継続して支援して下さる方
総会での議決権はあります

賛助会員 〈年会費〉団体・法人 10,000 円 / 1 □
個人 3,000 円 / 1 □
当法人の活動に賛同し継続して支援して下さる方
総会での議決権はありません

寄付募集

当法人を財政面から随時支援して下さる方 3,000 円 / 1 □ ~



※正会員は税の優遇措置がありません。賛助会員・寄付は税の優遇措置があります。確定申告の時期に証明書を送付いたします。

お振込先

ゆうちょ銀行振込の場合：郵便局払込取扱票にて 00250-5-95852 NPO 法人スペースふう
銀行振込の場合：山梨中央銀行 青柳支店 普通口座 318874 特定非営利活動法人 スペースふう 理事長 永井寛子

2021年度会計報告

活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

	特定非営利活 動に係る事業	休眠預金等 活用事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費	155,000		155,000
2 受取寄附金	1,586,305		1,586,305
3 受取助成金等	2,059,750	3,239,572	5,299,322
4 事業収益	2,139,398		2,139,398
5 その他収益	100,292	41,800	142,092
経常収益計	6,040,745	3,281,372	9,322,117
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費	2,223,024	1,882,918	4,105,942
(2)その他経費	6,637,326	1,398,454	8,035,780
事業費計	8,860,350	3,281,372	12,141,722
2 管理費			
(1)人件費	777,539	0	777,539
(2)その他経費	1,099,617	0	1,099,617
管理費計	1,877,156	0	1,877,156
経常費用計	10,737,506	3,281,372	14,018,878
当期経常増減額	△ 4,696,761	0	△ 4,696,761
III 経常外収益			
	1,942,920	0	1,942,920
IV 経常外費用			
	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	△ 2,753,841	0	△ 2,753,841
法人税、住民税及び事業税	71,204		71,204
当期正味財産増減額	△ 2,825,045	0	△ 2,825,045
前期繰越正味財産額	3,003,539	0	3,003,539
次期繰越正味財産額	178,494	0	178,494

リユース食器レンタルの需要が大きく落ち込んだコロナ禍1年目の前年度と比較して、2021年度の事業収益は若干回復しましたが(132万円増)、コロナ禍前の前々年度比では1割程度にとどまっています(前々年度事業収益2,341万円)。そのため、国からの支援金等について積極的に申請を行い、収入の確保に努めました。

また、158万円の寄付金の他、205万円の助成金をいただきました。寄付金は、主にリユースお弁当箱等の新しい市場への挑戦や普及啓発などに活用させていただきました。

さらに、2021年度は内閣府の休眠預金等活用事業に採択され、新たに『リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業』を立ち上げました(助成期間3年、助成予定総額1,500万円)。

2021年度も前年度から引き続き、支出の削減に努めましたが、支出が収入を上回り、当期正味財産増減額は△282万円、次期繰越正味財産額は17万円となりました(前年度283万円減)。

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

	特定非営利活 動に係る事業	休眠預金等 活用事業	内部取引 消去等	合計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	3,338,629			3,338,629
売掛金	201,768			201,768
未収入金	444,540		△ 444,540	0
貯蔵品	871,811			871,811
前払金	0			0
流動資産合計	4,856,748	0	△ 444,540	4,412,208
2 固定資産				
有形固定資産	9,569,868	0		9,569,868
投資その他の資産	100,000	2,454,968		2,554,968
固定資産合計	9,669,868	2,454,968		12,124,836
資産合計	14,526,616	2,454,968	△ 444,540	16,537,044
II 負債の部				
1 流動負債				
短期借入金	1,200,000			1,200,000
未払金	838,351	444,540	△ 444,540	838,351
未払法人税等	71,000			71,000
未払消費税等	95,500			95,500
前受金	699,516			699,516
前受助成金		2,010,428		2,010,428
預り金	6,755			6,755
流動負債合計	2,911,122	2,454,958	△ 444,540	4,921,550
2 固定負債				
長期借入金	6,236,000			6,236,000
役員借入金	5,201,000			5,201,000
固定負債合計	11,437,000	0	0	11,437,000
負債合計	14,348,122	2,454,968	△ 444,540	16,358,550
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産	3,003,539			3,003,539
当期正味財産増減額	△ 2,825,045			△ 2,825,045
正味財産合計	178,494	0	0	178,494
負債及び正味財産合計	14,526,616	2,454,968	△ 444,540	16,537,044

財務諸表は、山本薫公認会計士事務所の助言のもと
NPO 法人会計基準に準拠し作成しております。

スペースふうは、これからもさまざまなことに挑戦します!!
ごみゼロに挑戦し続けるスペースふうへのご支援をお願いします。

発行日: 2022年7月
発行: 認定NPO法人スペースふう
編集長: 長池伸子 デザイン: 上鶴恵子
印刷: 株式会社フォーワークス